

## 米山梅吉記念館委員会報告

### 米山梅吉記念館運営委員 坂倉久慶君

2020年～2021年度 米山梅吉記念館委員会委員を仰せつかりました坂倉です。地区研修協議会 米山梅吉記念館委員会 河口湖RC 外川委員長のお話から抜粋して報告します。



米山梅吉記念館は2620地区に存在します。この館の設立の目的は、1920年、日本に初のロータリークラブである東京RCを創設し、初代会長に就任なさった米山梅吉翁の文献や遺品等を保存し、生涯自らを省みず社会貢献と奉仕活動に奔走した梅吉翁の遺徳を偲び、その遺徳を顕彰し、それらの根源にあるロータリー精神を後世へ伝承かつ普及を図ることにあります。

地元ロータリアンの源とされる米山梅吉記念館ではありませんが、私たち2620地区だけの館ではなく、日本全国のロータリアンの聖地とすべく啓発していかなくてはならないのではないのでしょうか。そのために地区委員一同、来館者を呼び、来館クラブに対し心を込めてお出迎えし、微力ではありますが、館内の説明、墓所への案内等それぞれの持ち味を生かした対応を行っています。昨年度、記念館創立50周年を迎え、地区のガバナー、パストガバナー、エレクト、ノミニー、デジグネートのお力添えとご指導のもと、また全国及び2620地区のロータリアンの皆さま方のご支援ご協力により50周年記念式典を無事挙げてきました。

50周年記念式典の中で、様々な梅吉翁の人となり表現されました。講演会では林曼麗(リン ムーリ)氏が論語の中の「己の欲せざる所は人に施すことなかれ。己立たんと欲して人を立て、己達せんと欲して人を達す。」という孔子の言葉について話されました。この言葉こそ、梅吉翁が生涯身を挺して続けてこられた奉仕の精神、また生き方と捉えても良いのではないのでしょうか。国、民族、文化を越えての精神の繋がりを大切に、一人ひとりの心を大切に手をさしのべられた梅吉翁の精神を私たちロータリアンは受け継ぎ伝承していかなくてはならないと痛切に思いました。大塚良重氏の一人語り、米山梅吉の足跡による梅吉翁の生涯。語り尽せませんが、私たちロータリアンは本当に素晴らしい先輩を持ってたことを誇りに思います。私たち地区委員は昨年度同様、館を訪れてくださる全国のロータリークラブ、ロータリアンの皆さまへの対応や館のサポートを続けていきます。またDVD「米山梅吉の跫音」は地区内クラブで上演することができますので館にご一報いただければと思います。私たち地区委員は委員会が各々の部署で尽力し、50周年も地区委員が一丸となって努力したことを報告したいと思います。このように梅吉翁及びロータリーの資料が存在するこの館を、2620地区

だけに留めず、全国のロータリアンの聖地にすべく微力ではありますが努力していきたいと思えます。

最後になりますが、どうか地区の皆様方も館を訪れ、地区の先達の熱い心を学び、心に留め、益々のご協力をお願い申し上げます。

以下実施事項、具体的内容及び実施予定時期を報告します。

- 1) 運営委員会 年4回 2020年7月、9月 2021年1月、4月
- 2) 来館案内 来館者要請により卓話、墓参案内、案内マニュアル整備 通年
- 3) 奉仕活動 記念館の各種行事の支援 庭木の手入れ清掃奉仕活動 2020年4月、2021年4月
- 4) 運営小委員会
  - A 記念祭の開催
    - 1) 秋季例祭 2020年9月19日(土)
    - 2) 春季例祭(命日祭)2021年4月24日(土)  
記念講演・アトラクション・案内状の送付
  - B 広報活動  
記念館紹介のDVD作成、記念館情報を「ロータリーの友」「ガバナー月信」に掲載、記念館HPの装備、館報を全国RCへ発送作業 春季号(3月中旬) 秋季号(8月中旬)
  - C 来館者の誘致活動  
ロータリアン・RC来館の推進、記念館周辺の名所・旧跡及び観光案内のパンフレット作成
  - D 館・ホールの利用促進  
移動例会・会議・研修の場として活用の推進
  - E 米山文庫の運営  
米山文庫「子ども図書館」の円滑な運営、支援
  - F 展示品の整備  
展示室の模様替え・展示品の入替え、米山梅吉・ロータリーに関する資料の蒐集及び整理
  - G 蔵書の整理  
文献の集成・整備
  - H 図書等の販売コーナー設置  
記念館関連の出版図書及び記念館バナー・米山グッズの販売
- 5) 事業資金の調達 全国ロータリー会員1人100円募金運動の推進、地区内クラブ周年行事等の館への寄附要請、賛助会員増員の推進
- 6) 広報活動 地区大会等ブース出展
- 7) 勉強会 来館者対応にての卓話等  
合計予算は330万円とのことであります。  
以上、ご報告します。